

読書のすゝめ

その15

H 27

7 / 21

蔵書点検!

本校には約2万8千冊の本が所蔵されていますが、新校舎になってから蔵書点検がおこなわれていませんでした。1・2年の図書委員さんに協力してもらい、7月10日から蔵書点検をしています。各クラスの図書委員さんがたいへん熱心に作業をしてくれているので、夏休み前にひととりの点検が終わりそうです。本当にありがとうございます。

紛失図書やラベルがない本などの後処理、また、配架の並べ替えなど課題が多いのですが、夏休み中に一つずつ処理していきます。



「豆っぴ」を使ってバーコードを読みとり、点検をしています!



う、腕が・・・イタイ

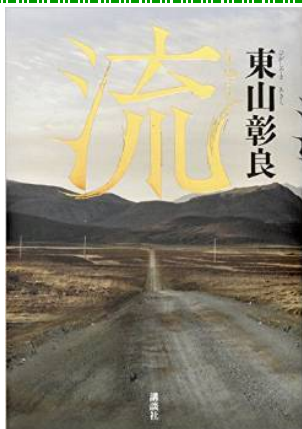


ステキな書店員さん?!



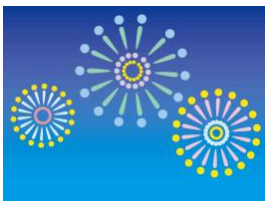
芥川賞・直木賞発表!

第153回芥川龍之介賞の選考委員会が平成27年7月16日(木)午後5時より築地・新喜楽で開催され、又吉直樹さんの「火花」と羽田圭介さんの「スクラップ・アンド・ビルド」に決まりました。また、直木三十五賞には東山彰良さんの「流」が選出されました。



「流」東山彰良 講談社

171975年、偉大なる総統の死の直後、愛すべき祖父は何者かに殺された。無軌道に生きる「わたし」には、まだその意味はわからなかった。事件の秘密を追うような、もしくは、その秘密に追われるようにして主人公のルーツでもある中国大陸に流れていく。大陸から台湾、そして日本へ。歴史に刻まれた、一家の流浪と決断の軌跡。作者は台湾生まれの日本育ち。現在は福岡の大学で中国語を教えている。また、福岡県警にて中国人容疑者の通訳を務めていた経験もある。



夏休み中も、土日と8月13・14日以外は開館しています。

